

〔No. 355号〕

2月

令和3年

〔2021年〕

ふたかわ

呉市築地町3番1号

二川まちづくりセンター

TEL 21-3961

FAX 25-8821



謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナ禍でいろいろな行事が中止となり、皆様方には大変ご心配とご迷惑をおかけしました。皆様方のご協力により、コロナ禍ではありますが、何とか活動をする事ができましたことを心より御礼申し上げます。

本年におきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けてご協力いただき、楽しく活動ができますように、引き続きご協力くださいますことをお願いいたします。

広島コロナお知らせQR



《サービスの概要》

二川まちづくりセンターを利用する際に、施設に掲示されているQRコードを読み取って、メールアドレスを登録していただいた方に対し、感染者と同じ時間帯に施設を利用したことが確認された場合に、感染者と接触した可能性があることをお知らせするシステムです。

また、お知らせを受けた方にはPCR検査の申し込みが案内され、申し込みフォームからPCR検査の申し込みをしていただくことができます。

呉市では、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて様々な取り組みをしていますが、万が一感染者が出た場合、できるだけ早く対応していただくためのシステムです。

手続きの方法は簡単で、①QRコードを読み取る ②メールアドレスを入力する ③完了です。詳しくは、受付や各部屋に配置しております「QRで積極ガード」に記載しておりますので、お手数をおかけしますが、来館されるたびに登録をしてくださいようご案内申し上げます。

お礼のお手紙を頂きました

11月6日（金）に、呉市立港町小学校2年生の子供たちが、二川まちづくりセンターへ【まちたんけん】に来てくれました。そのお礼ということで、子供たちからたくさんのお手紙を頂きました。とてもうれしかったので、二川まちづくりセンター玄関の掲示板に掲示させていただきました。お時間がありましたらご覧ください。

子供たちの心温まるお手紙に、とてもうれしくなりました。

子供たちにはこれからも、いろいろな形で、二川まちづくりセンターを利用していただければ嬉しいです。ありがとうございました。



原稿をお寄せください

コロナ禍で様々な行事が中止されておりますが、そのような状況下でも講座や自主サークルで精いっぱい活動しておられる様子を二川まちづくりセンターだよりに掲載させていただきたいと思っております。つきましては、活動状況やお知らせしたいことがありましたら、二川まちづくりセンター受付まで原稿をお寄せください。お待ちしております。(紙面の都合上、内容を縮小させていただいたり、掲載できなかつたりする場合がありますがご了承ください。)

「妻見習い趣味楽しむ」 福山市在住 79歳男性

新型コロナウイルス禍で外出もままならない今だが、考えようでは家の中で趣味を生かして世の中の役に立つことがある。妻は針仕事や手編みが大好きで、新聞の暮らし面に掲載されたマスクの作り方を見て毎日縫っている。材料の端切れは山ほどある。洗剤を使わずに洗える「エコたわし」もアクリル毛糸で作る。親戚や友人に配り、とても重宝されたようだ。特にマスクが不足している時は喜んでもらった。昔は60歳といえばお年寄りだったが、今はシニアの中では「青年団」だ。来年は八十路に入る私たちも、少しでも人様の役に立てると幸せだ。妻は55歳で脳梗塞を発症し、私も74歳で不整脈の手術をしたが、共に後遺症もない。妻は針仕事がある。私も何か趣味をとっていた時、義兄から川柳でもと言われ始めた。文芸欄に投稿したら掲載して頂き、以後すっかりはまった。愚策でも投稿するのが生きがいだ。妻と互いに趣味で充実し、楽しく老いていきたい。



令和2年11月12日 中国新聞 「広場」より

【 有名人の言葉より 】

「一日生きることは、

一歩進むことでありたい。」

ゆかわ ひでき
湯川 秀樹

(日本人初のノーベル賞受賞者・理論物理学者)



(アインシュタイン博士と)

湯川秀樹さんは、1935年、物質を構成する原子の中に、それまで発見されていない新しい粒子の存在を予測し、理論的な説明に成功して発表をしました。欧米の研究者に比べて、日本人の研究が評価されにくい風潮があった当時、国際的な学術会議である「ソルベー会議」に招かれる等注目を浴びられました。その後、湯川さんの提唱された粒子が実際に発見されたことで、その理論は証明されました。湯川さんのノーベル賞は、戦後の混乱に苦しむ多くの日本人に希望を与えました。

湯川さんの功績は、敗戦で国際的に弱い立場であった当時の日本が、世界中を驚かせるほどのものでした。冒頭の湯川さんの名言から、彼の勤勉さがよく伝わってきます。「自分は怠けがちな性格だから、そこまでまじめには生きられない。」等と弱気になる人もいられるかもしれませんが、心がけ次第で「一歩進むことができる」また、たとえ些細なことで短い時間であっても、続けることで前進することができる。その結果、自分の目標や夢に到達できるということを湯川さんは教えてくださっているように思います。